

2025年3月

九州大学歯学部歯科保存学第一講座 同門会ニュースレター

発行：九州大学大学院歯学研究院口腔機能修復学講座内

九州大学歯学部歯科保存学第一講座同門会事務局

〒812-8582 福岡市東区馬出3-1-1

TEL：教授室 092-642-6356 医局 092-642-6358 FAX：092-642-6360

<http://www.dent.kyushu-u.ac.jp/perio/index.html>

年会費振込口座番号 福岡銀行 普 店番 213 口座番号 1187291

【コンテンツ】

同門会会長ご挨拶 医局業績 令和6年度同門会総会 医局スタッフ 編集後記

同門会会長 ご挨拶

平素より同門会活動にご協力いただき、心より感謝申し上げます。コロナも収束してきており、以前の日常が戻ってきたように思われます。昨年秋には、対面での同門会総会、福岡歯科大学の教授に就任されました松崎英津子先生の講演会、懇親会を開催することができました。またブルーフィールズ賞の表彰も行いましたが、この賞の発案者である西村英紀教授も、来年には退任をむかえます。3代目教授として、

前田勝正教授の後を継がれ多くの優秀な人材を輩出され、教室を発展されてこられました。同門会としましても、盛大な退任記念事業ができるよう協力していきたいと思います。

昨年の総会で承認されました、会計値上げ、経費節減のため、印刷物、郵送物縮小、HPによるリアルタイムの情報発信を、次年度より実行していこうと思います。物価高の中大変恐縮ですが、ご理解ご協力のほどよろしくお願い申し上げます。

寒い時期もありましたが、早咲きの桜もちらほら咲き始め、春を感じるようになってきました。

次年度に向けて、皆様がますますご活躍されますようお祈りいたします。

同門会会長 鎮守信弘

九州大学大学院歯学研究院口腔機能修復学講座歯周病学 令和6年（2024年業績集）

原著

1. Kawakami K, Fukuda T, Toyoda M, Nakao Y, Hayashi C, Watanabe Y, Aoki T, Shinjo t, Iwashita M, Yamashita A, Shida M, Sanui T, Uchiumi T, Nishimura F. Luteolin Is a Potential Immunomodulating Natural Compound against Pulpal Inflammation. *Biomed Res Int*, 2024, 8864513.
2. Toyoda M, Fukuda T, Fujimoto R, Kawakami K, Hayashi C, Nakao Y, Watanabe Y, Aoki T, Shida M, Sanui T, Taguchi M, Yamamichi K, Okabe A, Okada T, Oka K, Nakayama K, Nishimura F, Kajioka S. Scaffold-free bone-like 3D structure established through osteogenic differentiation from human gingiva-derived stem cells, *Biochem Biophys Rep*, 2024, 38:101656.
3. Aoki T, Gao J, Li A, Huang F, Tu Y, Wu W, Matsuda M, Kiyoshima T, Nishimura F, & Jimi E. Phosphorylation of serine 536 of p65 (RelA) downregulates inflammatory responses. *Inflammation* 2024, 10.1007/s10753-024-02140-0.

著書・総説・商業誌・ケースレポート

1. 福田隆男、西村英紀. 齒肉幹細胞由来細胞外小胞を利用した歯周炎治療戦略. 日本歯周病学会誌 2024 年 66 卷 1 号 p.1-8.
2. Fukuda T, Kawakami K, Toyoda M, Hayashi C, Sanui T, Uchiumi T. Luteolin, chemical feature and potential use for oral disease. *Current Oral Health Reports*, 2024, 11(4):290-296.
3. 西村英紀、山下明子、新城尊徳、他. 日本糖尿病学会編 糖尿病診療ガイドライン 2024 南江堂、2024 16 章 糖尿病と歯周病 南江堂, 2024, 345-353.
4. 山下明子、西村英紀. 歯科衛生士のための糖尿病予防指導マニュアル第 2 版. 総論 3 糖尿病と歯周病の関係、総論 4 糖尿病患者における歯周治療の流れと歯科衛生士の役割 医歯薬出版. 23-38.

シンポジウム・招待講演

1. **新城尊徳** セッション 3 食事と口腔衛生から考える糖尿病 「歯周病と糖尿病の相互関係」 第 6 回日本抗加齢医学会九州地方会学術総会、電気ビル共創館、福岡市、2024.1.28.
2. **新城尊徳**, 佐藤晃平, 濑々起朗, Ahmed Al-kafee, 大塚穂佳, 岩下未咲, 西村英紀. ジョイントシンポジウム 14 ~多職種コラボレーションで支える腎疾患患者の健口とは~ 歯周病による糖尿病性腎症の増悪に関する新たな分子メカニズム 第 14 回日本腎臓リハビリテーション学会学術集会、朱鷺メッセ、新潟市、2024.3.16-17.
3. **新城尊徳** 新城尊徳, 濑々起朗, 西村英紀. シンポジウム 21 糖尿病と歯周病~最新データから考える新時代の医科歯科連携~ 糖尿病関連歯周炎の新たな病態形成因子-インスリン抵抗性 第 67 回日本糖尿病学会年次学術集会、東京国際フォーラム、東京都千代田区、2024.5.17-19.
4. **新城尊徳**, 佐藤晃平, 濑々起朗, 岩下未咲, 横溝久, 西村英紀. アップデートシンポジウム 9 「Update on Periodontal Medicine -基礎研究と臨床 研究における歯周医学アップデート-」 歯周炎による糖尿病性腎症増悪における糸球体内の分子メカニズム 第 66 回歯科基礎医学会学術大会、長崎大学医学部キャンパス、長崎市、2024.11.2-4.
5. **Takao Fukuda**. Exosomal miRNAs from gingival tissue-derived stem cells as a therapeutic strategy for periodontitis. Symposium 1 “Progressive Spirits in Periodontal Regenerative research – Distinct Approach from Existing Strategies”. The 72nd Annual Meeting of Japanese Association for Dental, Oral and Craniofacial Research, Kakuix Koryu Center, Kagoshima, Japan. 2024.11.16-17.

受賞

1. 日本歯周病学会 2024 年度歯周組織再生医学優秀発表賞
信太実有
2. 日本歯周病学会 2024 年度 Young Investigator Award
佐藤晃平
3. 令和 5 年度 九大歯学優秀研究者賞(FWCI 部門), 九州大学歯学部
新城尊徳
4. 日本歯科保存学会 2024 年度奨励賞
瀬々起朗
5. 日本歯周病学会 2024 年度奨励賞
青木司
6. 令和 6 年度歯学府大学院研究中間発表会優秀賞
信太実有
7. 令和 6 年度歯学府大学院研究中間発表会優秀賞
李金鳳
8. 令和 6 年度歯学府大学院研究中間発表会優秀賞
Ahmed Alkafee

9. 110th AAP Annual Meeting JSP/JACP ポスターファイナリスト
瀬々起朗
10. IADR Hatton Awards 国内ファイナリスト
信太実有
11. 國際歯科研究学会 日本部会[JADR] 2024 年度 Lotte 学術賞
新城尊徳

学会発表

1. Hayashi C, Toyoda M, Kawakami K, Nakao Y, Shida M, Shinjo T, Sanui T, Fukuda T, Nishimura F. miR-1260b promotes M2 macrophage polarization by targeting NFAT5 and NLRP3. 102nd General Session & Exhibition of the IADR, New Orleans, LA, USA, 2024. 3. 13-16.
2. Toyoda M, Kajioka S, Fukuda T, Kawakami K, Hayashi C, Shida M, Aoki T, Zeze T, Nakao Y, Sanui T, Nishimura F. Fabrication of gingiva-derived stem cell-based scaffold-free bone-like 3D structures. 102nd General Session & Exhibition of the IADR, New Orleans, LA, USA, 2024. 3. 13-16.
3. 西村優輝、岩下未咲、新城尊徳、瀬々起朗、佐野朋美、山下明子、西村英紀 XAF1 の過剰発現は脾 β 細胞のアポトーシスを促進することで糖尿病を悪化させる 第 67 回日本糖尿病学会年次学術集会、東京国際フォーラム、千代田区、2024. 5. 17-19.
4. 佐藤晃平、新城尊徳、瀬々起朗、今川澪、梁尚陽、陳爽、Ahmed Alkafee、大塚穂佳、西村優輝、岩下未咲、山下明子、西村英紀。実験的歯周炎に応答し発現が上昇した糸球体 PGD2 は KK-Ay マウスにおける糖尿病性腎症の増悪に寄与する。第 67 回春季日本歯周病学会学術大会、ビッグパレットふくしま、郡山市、2024.5.24-25.
5. 信太実有、讚井彰一、西村優輝、林千華子、川上賢太郎、豊田真顕、新城尊徳、福田隆男、西村英紀：アメロジエニンが他家皮膚移植モデルマウスの拒絶反応に及ぼす影響。第 67 回春季歯周病学会・学術大会、ビッグパレットふくしま、郡山市、2024.5.24-25.
6. 福田 隆男、川上 賢太郎、王 紫瑜、肖 萌、豊田 真顕、林 千華子、信太 実有、李 金鳳、Ahmad Mwannes、讚井 彰一、西村 英紀 エムドゲインのプロテオミクス 第 67 回春季日本歯周病学会学術大会、ビッグパレットふくしま、郡山市、2024.5.24-25.
7. 佐藤晃平、新城尊徳、瀬々起朗、今川澪、梁尚陽、Ahmed Alkafee、大塚穂佳、西村優輝、岩下未咲、山下明子、西村英紀。実験的歯周炎に応答し発現が上昇した糸球体 PGD2 は KK-Ay マウスにおける糖尿病性腎症の増悪に寄与する 第 67 回秋季日本歯周病学会学術大会、Young Investigator Award 口演、札幌コンベンションセンター、札幌市、2024.10.4-5.
8. 梁尚陽、新城尊徳、佐藤晃平、今川澪、瀬々起朗、Ahmed Alkafee、大塚穂佳、Gulinigeer Dilimulati、西村優輝、山下明子、岩下未咲、西村英紀。進行性 NASH モデルにおける肝線維化は結紮による実験的歯周炎で増悪する。第 67 回秋季日本歯周病学会学術学会、札幌コンベンションセンター、札幌市、2024.10.4-5.
9. Ahmed Al-Kafee, Takanori Shinjo, Kohei Sato, Tatsuro Zeze, Honoka Otsuka, Mio Imagawa, Yuki Nishimura, Gulinigeer Dilimulati, Naoaki Ryo, Akiko Yamashita, Misaki Iwashita, Fusunori Nishimura: "Experimental Periodontitis May Contribute to the Progression of Tubular Pathology in a Diabetic Nephropathy Model of KK-Ay Mice." 第 67 回秋季日本歯周病学会学術学会、札幌コンベンションセンター、札幌市、2024.10.4-5.
10. Tatsuro Zeze, Takanori Shinjo, Shuang Chen, Naoaki Ryo, Al-kafee Ahmed, Honoka Otsuka, Kohei Sato, Mio Imagawa, Yuki Nishimura, Akiko Yamashita, Fusunori Nishimura Insulin sensitizing reagents suppress inflammation-inducing VCAM-1 expression on endothelial cells 110th AAP Annual Meeting、アメリカ合衆国カリフォルニア州サンディエゴ、San Diego Convention Center、2024.10.31-11.4.
11. Miyu Shida, Terukazu Sanui, Karen Yotsumoto, Yuki Nishimura, Chikako Hayashi, Masaaki Toyoda, Kentaro Kawakami, Takao Fukuda, Fusunori Nishimura: Amelogenin prolongs the survival of skin allograft in mice. アメリカ合衆国カリフォルニア州サンディエゴ、San Diego Convention Center、2024.10.31-11.4.
12. 梁尚陽、新城尊徳、信太実有、西村優輝、瀬々起朗、今川澪、佐藤晃平、Ahmed Alkafee、大塚穂佳、山下明子、岩下未咲、西村英紀。軽度肥満状態では脂肪組織の CCL19 発現増に応じて歯周炎は増悪す

る 令和 6 年度 日本歯周病学会九州五大学日本臨床歯周病学会九州支部合同研修会、アクロス福岡、福岡市、2024.11.10

13. 信太実有、讚井彰一、四本かれん、西村優輝、林千華子、李金鳳、豊田真顕、川上賢太郎、福田隆男、西村英紀 rM180 アメロジエニンの同種皮膚移植における免疫抑制効果の検証. 令和 6 年度 日本歯周病学会九州五大学日本臨床歯周病学会九州支部合同研修会、アクロス福岡、福岡市、2024.11.10
14. Tatsuro Zeze, Takanori Shinjo, Naoaki Ryo, Honoka Otsuka, Ahmed Al-kafee, Gulinigeer Dilimulati, Kohei Sato, Mio Imagawa, Yuki Nishimura, Akiko Yamashita Fusanori Nishimura Metformin suppresses inflammation-induced VCAM-1 expression on endothelial cells 第 72 回国際歯科研究学会 日本部会[JADR] 総会・学術大会、カクイックス交流センター、鹿児島市、2024.11.16-17.
15. Miyu Shida, Terukazu Sanui, Karen Yutsumoto, Yuki Nishimura, Chikako Hayashi, Jinfeng Li, Ahmed Mwanness, Masaaki Toyoda, Kentaro Kawakami, Takao Fukuda, Fusanori Nishimura: The protective effect of amelogenin in allogeneic skin transplantation model. 第 72 国際歯科研究学会 日本部会[JADR] 総会・学術大会、カクイックス交流センター、鹿児島市、2024.11.16-17.
16. Takanori Shinjo, Kohei Sato, Tatsuro Zeze, Mio Imagawa, Honoka Otsuka, Al-kafee Ahmed, Misaki Iwashita, Akiko Yamashita, Hisashi Yokomizo, Fusanori Nishimura. Glomerular HPGDS-PGD2 axis may contribute to periodontitis-related exacerbation of diabetic nephropathy. 第 72 国際歯科研究学会 日本部会[JADR] 総会・学術大会、カクイックス交流センター、鹿児島市、2024.11.16-17
17. Hayashi C, Fukuda T, Shida M, Toyoda M, Kawakami K, Xiao M, Wang Z, Li J, Mwannes A, Shinjo T, Sanui T, Nishimura F. miR-1260b Promote Anti-inflammatory M2 Macrophage by Targeting NFAT5. 第 72 国際歯科研究学会 日本部会[JADR] 総会・学術大会、カクイックス交流センター、鹿児島市、2024.11.16-17.

令和6年度同門会総会・学術講演会・懇親会

令和 6 年度同門会総会・学術講演会

令和 6 年 12 月 21 日（土） 福岡市歯科医師会館第 1・2 会議室

同門会役員会 午後 4 時～午後 4 時 30 分

同門会総会 午後 4 時 30 分～午後 5 時

学術講演会 午後 5 時～午後 6 時

福岡歯科大学歯科保存学分野教授 松崎 英津子 先生

『歯髄と歯をまもる』



記念写真撮影

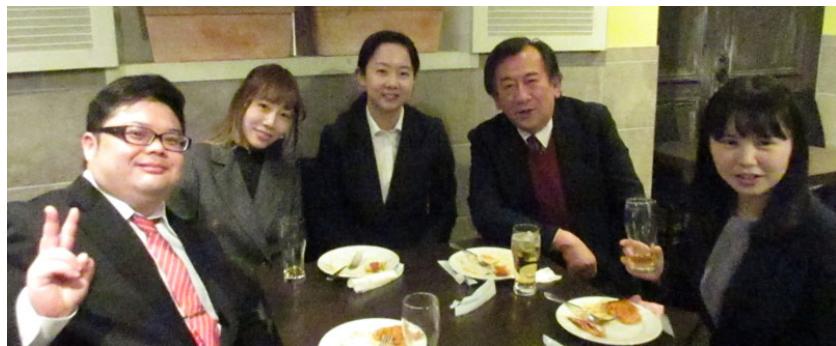
イルコルティーレ（天神）にて



懇親会

イルコルティーレ（天神）にて

開会の辞：	同門会会长 鎮守 信弘 先生
大学の近況：	九州大学教授 西村 英紀 先生
乾杯：	学校法人福岡学園病院顧問 阿南 壽 先生
閉会の辞：	同門会副会长 廣藤 卓雄 先生





2024年ブルーフィールズ賞発表



【趣旨】歯科保存学第一講座同門会会員において歯周病学の発展に寄与する学術論文を発表した若手研究者を表彰するために、初代青野教授にちなんで、ブルーフィールズ賞を設けた。

【選考方法】受賞候補者は、当該年の前年において最もインパクトファクターの高い国際学術誌に掲載された論文を発表した者の中から選出する。

2024年受賞者：瀬々 起朗

論文タイトル：「Endothelial Insulin Resistance Exacerbates Experimental Periodontitis.」

Journal of Dental Research 102(10): 1152-1161.

Impact Factor: 8.924

医局スタッフ（令和7年3月現在）

教授	西村 英紀
講師	讚井 彰一（外来医長）、福田 隆男（医局長）
助教	山下 明子（副医局長）、新城 尊徳、西村 優輝、林 千華子、瀬々 起朗
医員	青木 司、中吉 健蔵
後期研修医	今川 濑、川上 賢太郎、佐藤 晃平、豊田 真顕、波留 健太
大学院生 D3	信太 実有、梁 尚陽、Ahmed AL-kafee、李 金鳳
大学院生 D2	大塚 穂佳、Ahmad Mwannes
大学院生 D1	肖 萌、王 紫瑜、Gulinigeer Dilimulati

新入医局員紹介（令和6年度入局）

Gulinigeer Dilimulati



氏名：Gulinigeer Dilimulati

（グリニゲア ディリムラティイ）

出身地：中国、新疆

出身大学：西安交通大学

特徴：明るい、親しみやすい

趣味：K-POP、散歩、カフェ巡り、アニメ

コメント：歯周病研究室に加入できたことを大変嬉しく思います。新しい環境で多くのことを学び、素晴らしい仲間と共に研究に取り組めることを楽しみにしています。これからよろしくお願いいいたします。

編集後記：今年もはや年度末をむかえ、医局も来年度に向けての準備が慌ただしくなっております。昨年の同門会総会では、来年度が西村教授の最終年度であり、また、同門会費の残額減少と物価上昇に伴う補填のため以下の議案が承認されております。

1. 西村教授のご退任記念事業の発足：退官式) 2027.04.04 (土) ソラリアホテル予定
2. 同門会費値上げ：3,000 円→5,000 円へ値上げ
3. 名誉会員年齢の変更：来年度 71 歳以上へ引き上げ

また、郵送料金削減のため、ニュースレターの送付は今回で最後となります。今後は九大歯周病科 HP に同門会情報を追加し、メーリングリストで更新案内などの情報を連絡させていただきます。

同門会の先生方には、時代に伴う変化が必要な状況をご理解のうえ、何卒、変わらぬご指導ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

(福田 隆男 医局長)

12 月に開催しました同門会総会を盛会で終えることができました。これもひとえに会員の皆様のおかげでございます。しかしながら、会計に関しましては、会費徴収を見送ってきたこともあり、大変厳しい状況となってきております。物価高の中大変恐縮ですが、今年度の総会承認を経て来年度の会費は 2 千円の値上げと決定致しました。今年度までは 3 千円です。ご理解のほどよろしくお願い申し上げます。

2024 年度同門会総会で承認された会則変更内容

- 次年度より年会費 3,000 円→5,000 円に値上げ（同門会費の残額減少、物価高のため）
- 郵送料金削減のため、歯周病科 HP に同門会情報を掲載
メーリングリストで更新や案内等の情報を送付する
- 西村教授退官事業：2027.04.04 (土) ソラリアホテルを予定
- 名誉会員の取り扱い：(70 歳から) 満 71 歳以上に引き上げ

九州大学歯学部歯科保存学第一講座同門会
会長 鎮守信弘

同門会費のご納入を何卒よろしくお願い申し上げます。

同門会年会費：3 千円/年 (今年度までこの金額です)

振込口座：福岡銀行 普 店番 213 口座番号 1187291

ご住所・ご勤務先に変更や、ご近況や同門会に対するご意見ご提案等ございましたら、以下へご連絡をお願いいたします。

お電話： 092-642-6358

FAX： 092-642-6360

メール： sanuteru@dent.kyushu-u.ac.jp (代表：讚井)